

2019年2月1日

MSTC賛助会員 各位

一般財団法人 製造科学技術センター
専務理事 宮澤 和男

第2回「Xづくり研究会」成果報告会 開催案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素から当財団の活動に多大なご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当財団では、ものづくり、ことづくり、人づくり等々を広くとらえた「Xづくり」の観点での複数テーマの調査研究を行っております。

この度、「Xづくり研究会」の成果報告会を下記のとおり開催いたします。
ご興味のある方は是非ご出席いただければと存じます。

また、同報告会終了後に、ものづくり、ことづくり、人づくり等々に携る皆様と、当日発表テーマ等に関する自由意見を交換しつつ懇親を深める場として、交流会を下記のとおり引き続き開催いたしますので、成果報告会と併せてのご参加をお願いいたします。

敬具

—記—

日 時 : 2019年2月21日(木) 15時30分～17時00分 (交流会 17時10分～18時00分)
場 所 : 械振興会館(港区芝公園3-5-8) B3-1会議室 (交流会 B3ニュートーカー)
成果報告: Xづくり研究会

- 1) 製造科学技術バズワード活用研究会
- 2) メガ労働生産性システム研究会
- 3) 今後のXづくり研究会の取組み

※別紙1にて、上記3テーマの概要をご紹介します。

参加費 : 無料

申込方法: mstc-office1@mstc.or.jp宛メールにて、2019年2月14日(木)までにお申し込みます。
同メールへの返信(申込)メールを持って、参加証とさせていただきます。
当日(2/21)は印刷した参加証(返信(申込)メール)または名刺を受付に提出下さい。
返信(申込)メールには下記の項目をご記載下さい。よろしくお願いたします。

【件名】第2回「Xづくり研究会」成果報告会参加申込

【本文】①第2回「Xづくり研究会」成果報告会参加申込、

②氏名、③会社名・大学名・機関名、④所属部署、⑤役職名等、

⑥電話番号、⑦e-mailアドレス、⑧交流会の出席有無

照会先 : 藤井(mstc-office1@mstc.or.jp)、堀江(horie@mstc.or.jp)、牛丸(ushimaru@mstc.or.jp)

以上

成果報告テーマのご紹介

1) 製造科学技術バズワード活用研究会

「当社でも、クラウドを活用したAIを中心に、ロボットの応用を含めて新たなIoTのエコ・ビジネスを、デザイン思考を踏まえて、オープンイノベーションにより実現しよう。」

技術開発や事業企画に活用したい多くの重要用語（キーワード）があるものの、多くの関係者だけで通用するような、或いは、なんとなく分かった気になっているだけの「バズワード」となり、不透明感、もやもや感がある。そこで、ものづくりに関して、バズワードを例示して、バズワードの不透明さを払拭し理解を深める手法や、インパクトの比較、相互関連性、期待度の探り方を考察した上で、バズワード発でのR&Dプロジェクト検討方法を提案する。

2) メガ労働生産性システム研究会

「現場熟練作業者との親和性のあるロボット等」を開発し、「人の知恵を活かし進化し続けるものづくり」を実現することにより、人不足に直面する製造業の生産性増大に繋げることを目指している。中間報告段階では、多様な装置に関する組立工程の類型化の上に、航空機用タービンエンジンの高圧圧縮機を事例として、組立作業に関する未来型協業システムの考え方や実現に必要な技術要素の開発手順等を検討している。

3) 今後のXづくり研究会の取組み

Xづくり研究会活動の充実を図るため、平成31年度の新規テーマ候補である2件「拡張人間（Augmented Human）の実現」「ポストディープラーニング（ディープテックの実現）」について紹介する。また、同テーマの研究会の発足に向けた予定を説明する。

プログラム（都合によりプログラムを変更する場合があります。）

15:00～	受付開始	
	司会：MSTC 総務部 部長 牛丸	
15:30～15:35 (5)	ご挨拶	MSTC 専務理事 宮澤
15:35～16:10 (講演 30、質疑応答 5)	製造科学技術バズワード活用研究会 (活動最終報告)	MSTC 専務理事 宮澤
16:10～16:45 (講演 30、質疑応答 5)	メガ労働生産性システム研究会 (第2期活動報告)	MSTC ロボット技術推進室 室長 堀江
16:45～16:55 (講演 10)	今後のXづくり研究会の取組み	MSTC 専務理事 宮澤
16:55～17:00 (5)	閉会	MSTC 総務部 部長 牛丸
	(休憩・移動) 10分	
17:10～18:00	交流会@B3 ニュートーキョー	MSTC ロボット技術推進室 室長 堀江

以上